

白鷹^{あゆ}鮎まつりが 開催されました



平成23年9月17～19日の3日間、
白鷹町の道の駅白鷹ヤナ公園(あゆ茶屋)にて
第35回白鷹鮎まつりが開催されました。
(主催:第35回白鷹鮎まつり実行委員会)
多くの観光客が訪れ、鮎の塩焼きを買い求めたり、
魚のつかみどりなどのイベントを楽しんでいました。



最上川に面した道の駅白鷹ヤナ公園には、常設として日本一といわれるヤナ場や、鮎の塩焼きや鮎を使った料理を楽しめるあゆ茶屋があります。

ヤナ公園の上流には最上川沿いにフットパスが整備され、川沿いを散策出来ます。

鎌倉時代に怪力の侍が朝日岳の頂上から投げ飛ばしたという伝説が残るつぶて石、最上川舟運の妨げとなっていた黒滝の開削跡など最上川の歴史を感じられるコースです。

皆さんもフットパスを歩いてみませんか。



▲フットパスの木道とつぶて石

